

令和5年度 第3回 長浜市下水道事業審議会 会議録

日時:令和5年10月30日(月) 午前10時00分から午前11時00分まで

会場:長浜市役所 1階 多目的ルーム1・2

出席者:委員8名

横山幸司会長、山田昌宏副会長、中井宣夫委員、國友良行委員、前田喜代次委員、
筑田利美委員、服部貴美代委員、瀧本登茂子委員

事務局

嶋田都市建設部長、服部下水道事業局長、今荘都市建設部管理監

下水道総務課

長谷川課長代理、横田係長、林田主幹

下水道施設課

浅井課長代理、西尾課長代理、藤田主幹

北部建設局 北部建設課

岩崎課長代理、浅見主幹

進行:服部下水道事業局長

1. 開会

2. 部長あいさつ(省略)

3. 議事

(1)審議会答申案のとりまとめについて

事務局から「第2次長浜市下水道ビジョンについて 答申書(案)」に基づき説明

説明の後、次のような意見がありました。

委員	地域に残る小規模な農業集落排水処理施設について、維持管理費の軽減を十分念頭に置いて処理方式を検討していただきたい。 また、市民目線という考え方から、現行の使用料が継続されるよう努力することを念頭に置いていただきたい。
事務局	処理方式については、日進月歩であると思うので、それぞれ検討させていただいて、より良い方法、方向で改善させていただきたい。 また、市民目線は一番大事なことであると考えている。公的財政負担等によりできる限り料金改定を避けたいという思いはあるが、ビジョンは今後15年間のものであるので、人口減少や社会情勢により検討することもあるということで書かせていただいている。

(2)第2次長浜市下水道ビジョン(案)について

「第2次長浜市下水道ビジョン」に基づき説明

説明の後、次のような質疑がありました。

委員	人口減少について触れられているが、人口推移の数字には外国人を含むのか。含むとした場合、外国人が流動的であることを考えると、人口減少の見通しが甘くはないか。
----	---

事務局	人口の推移は外国人含みの数字となっている。確かに流動性はあると思うが、この区域に住んでおられる方がどのくらいかということでもらっているものになる。減少していくのは間違いないので、減っていった際には減っていったなりの施策を考えていきたい。
委員	財政力指数は県下で13番目ということだが、市の大きさと比べて低いのはどういった理由からか。
事務局	長浜市は様々な公共事業をしており、収入も多いが支出も多いということで財政力が強くないということかと思う。
会長	この財政力指数はおそらく令和3年度のものと思うが、未来永劫この順位というわけではない。しかし、長浜市も決して余裕がある状況ではないということで、敢えて記載しているものと思われる。
委員	財政計画の策定のところで、人口が減少しているのに公共下水の汚水量はほぼ横ばい状態となっているのはどういった理由からか。
事務局	人口が減少すれば汚水量も減少するのが通常であるが、この図は公共下水のみを表したものとなっている。農業集落排水からの接続があるため、公共下水の汚水量としては微増となる。公共下水と農業集落排水を合わせた図とした場合は、委員ご指摘のとおり減少傾向となる。
委員	農業集落排水事業の収支のところで、支出のほぼ全額が「その他」とされている。公共下水では「管渠費」や「ポンプ場費」といった書き方がされているのと比較しても、「その他」としない方が市民にとってわかりやすいのではないか。
事務局	検討させていただく。

(3) 今後の審議会の開催について

「長浜市下水道事業審議会開催スケジュール(案)」に基づき説明

4. その他(省略)

5. 閉会